



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたく御支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードから御覧いただけます。

第3期生(1年生)の研修状況

研修は、市内各地の複合経営農家（園芸作物＋水稻）のもとでの実習と校舎での座学を行っています。

実習では、本市の主力園芸作物である①メロン、②えだまめ、③ミニトマト、④きゅうりから選択し、栽培技術の習得に励んでいます。また、水稻については、5月に田植えを行い、これから稲刈りまでの一連の流れを学んでいきます。



(早朝からメロン収穫を行う研修生)

第2期生(2年生)の研修状況

来年4月の就農に向けて、メロンやえだまめなど自身の就農ビジョンに合致する作目について重点的に学んでいます。また、営農計画の作成も始まり、農地や住居を確保するなど就農に向けた準備を進めています。



(きゅうりの栽培方法について指導を受ける研修生(奥))

第1期生(修了生)が第三者継承により就農しました！

第三者継承で経営を譲り受けたSEADS修了生と移譲者、立会人3名が出席し、合意書の調印式を実施しました。

合意書に調印したのち、継承者となった修了生からはこれからの目標と決意が、移譲者からはこれまでの歩みと新たに住民が移り住むことへの期待が述べられました。



(えだまめの土寄せ作業を行う研修生)



(調印した合意書を持つ移譲者(左)と修了生(右))

第3期 研修生の紹介



齋藤 颯人さん
(鶴岡市出身)

SEADSに入校して、これまで考え付かなかった角度からも農業を捉えることができます。社会人になってから改めて講義を聞くと、学びが多いことに気付かされます。

私は畑仕事の後によく温泉に行きます。汗と疲れを流して、一息つくことが私のリフレッシュ方法です。明日からの研修も頑張ろうという気になります。